

「広きドニプルは咆哮し、うなりをあげ」

(邦訳名「広きドニエプル川の嵐」)

1. レ ベ タ ス トー グネ ドニー (プル)シ ローー キー
セル ディ ティ ビー テル ザー ビ バー
ド ド ル ベール ビ グネー ビ ソーオオキー
ゴ ラ ミ クビー リュ ピー ディ マー
2. イ ブリ ディ ミー シャツ ナー トウ ポー ルー
イス クマ リ デー デ ビー グリャ ダー(ウ)
ネ ナ チェ チョー ベヌ シー ニ モーオオリー
ト ビ リ ナー(ウ) ト ポー ト パー(ウ)
3. シェ トレ ティ ピー ウニ ネー スピ バー リー
ニ フト ニ グデー ネ ゴー モ ニー(ウ)
シ チ(ウ) ガ(イ) ユー ペ レー クリ カーアアリー(シ)
タ ヤ セン ラッス ウ ラッス スクリ ピー(ウ)

1. 広きドニプルは咆哮し、うなりをあげ、
忿怒の風は叫びたて、
高き柳の木々を地に押し、
山なみのように波濤を起ち上げる。
2. そして、青白い月は、その時に、
暗雲から、いづこかを見て、
青い海に[ただよう]小舟の如く、
ときに浮かび上がって、ときに沈んで。
3. もはや三羽の雄鶏は、時を告げなかった。
いかなるものも、いづこにも、音をたてないで、
フクロウたちが森のなかで呼び合った[のみ]。
しかしトネリコ[の樹]は、幾度も幾度も、軋み音をたてて。

1.

Реве та стогне Дніпр широкий,
Сердитий вітер завива,
Додолу верби гне високі,
Горами хвилю підійма.
Додолу верби гне високі,
Горами хвилю підійма.

2.

І блідий місяць на ту пору
Із хмари де-де виглядав,
Неначе човен в синім морі,
То виринав, то потопав.
Неначе човен в синім морі,
То виринав, то потопав.

3.

Ще треті півні не співали,
Ніхто нігде не гомонів,
Сичі в гаю перекликались,
Та ясен раз у раз скрипів.
Сичі в гаю перекликались,
Та ясен раз у раз скрипів.